トヨ子＆としやの 市政報告

2018年
8月号
第36号

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2018年８月１日
連絡先：大垣市室本町５－８
Tel 78-6865 Fax 73-8572

笹田トヨ子　企画総務委
Eﾒｰﾙ　sanba1@sasada-toyoko.jp
中田としや　文教厚生委
市民病院に関する委　副委員長
Eﾒｰﾙ nakatatoshiya015@gmail.com

次年度予算
市民ネットとともに省庁要請

7月31日から１泊２日で、次年度の国予算要望を行いました。

主な内容を紹介します。

① 児童館の設置について、施設運営への補助(厚生労働省)

② 小学校のエアコン設置について、補助率の拡充(厚生労働省)

③ 自治体の赤字バス路線に対する補助(国土交通省)

④ 学校施設環境改善交付金の増額要望(文部科学省)

要望書を手渡す中田議員(国交省自動車局)

特別寄稿　通常国会後の憲法改正を巡る情勢

通常国会が終わった

「改憲国会」になるであろうと予想された通常国会が終わった。カジノ法案、働き方改革関連法案等悪法が強行採決されて成立した。それ自体不当であり、容認し難い。

しかし、憲法審査会は数分の開会があったのみで、「改憲国会」とはならなかった。安倍首相の思惑は大いに狂った。しかし、安倍内閣は、改憲をあきらめていない。

政局は、今後どのような展開をするのであろうか。

来年は、４月に一斉地方選挙、７月に参議院選挙が予定されている。同時に、来年５月には、天皇退位がある。７月の参議院選挙では、改憲勢力が３分の２を維持するかどうかが最大の焦点となり、野党共闘が実現した場合には、１人区の勝敗によって、改憲発議する状況が喪失し、過半数割れ、ねじれ国会の再現となる可能性がある。その場合には、安倍内閣の憲法９条を変える狙いは完全に破たんする。

その意味で、来年は改憲勢力にとって決定的な時期となる。改憲手続を想定すると、３段階、①改憲案の策定、②国会での各議院での３分の２の賛成による発議、③60日から180日の周知期間を経たうえで国民投票の過半数の賛成が必要となる。

実は、①の改憲案の策定自体が、野党が安倍内閣の下での9条改憲に反対している状況の下では、自民、公明、維新、希望の全政党の賛成（党議決定）が必要となるので、容易に確定することが困難である。それが出来たとしても、②の発議もこれまでのように強行的に進めることは、国民投票が控えているので、容易ではない。

日程的にも極めて厳しい。自民党の方針としては、改憲項目は、①9条改憲、②国家緊急権、③教育費の無償化、④選挙区の合区が予定されている。これらの項目を国民に周知するためには、相当期間、数カ月の周知期間が必要となる。

この出発となるのが、今秋に予定されている臨時国会である。臨時国会で前記①②手続を完了させることは極めて困難である。それだけでなく、来年予定されている、天皇退位、一斉地方選挙が立ちはだかる。国民投票期間に天皇退位がかかることになれば、天皇を崇拝する右翼が黙っていない。一斉地方選挙にかかると、そこで改憲是か非かが問われ、公明党にとって極めて不利な状況が生まれることから、公明党は大反対する。

今こそ自力を付けて

3000万署名の達成、国民の生活を守る運動の高揚の中で、民主勢力の自力をつけ、市民との共同の発展、野党と市民との共闘を実現しよう。

参議院選挙は重要、そこで安倍支持勢力を過半数割れに追い込もう！

その前哨戦としての一斉地方選挙で、大垣・神戸地区での県会議員と２名市会議員を実現しよう。

（弁護士　笹田　参三）

トヨ子＆としやの6月活動日誌

笹田トヨ子

【7月】

1日　西濃民主商工会総会
3日　養老鉄道
4日　生活相談
8日　医療福祉後援会
12日　発達相談・労連定期大会
16日　後援会つどい
19日　上石津つどい
　　西美濃福祉会理事会
22・23日　県議員研修
24日　たすけ愛取締役会
25日　ナイトカフェ
28日　ピースフェスティバル
31・1日　国への要望

中田としや

【7月】

1日　西濃民商総会、はだしっこ保育園夏祭り
3日　養老鉄道ネットワーク会議
4日　ｽﾃｯﾌﾟﾌｧﾐﾘｰ生活相談
9日　西濃運輸野球市民壮行会
10日　議会だより編集委員会、ICTに関する委員会
11日　党創立９６周年記念講演会
14日　国賠同盟総会
16日　法律事務所後援会総会
25日　ともがき大学実行委員会
28日　内原つどい
31日　東京・省庁要望

映画「コスタリカの奇跡」を観て

市議　中田としや

軍隊を廃止したコスタリカ

働き方改悪法、カジノ実施法などを強行した国会が閉会しました。

憲法９条改定の国会発議は行われませんでしたが、９月の自民党総裁選に向けて首相は改憲への意欲を示しています。

自衛隊の憲法明文化は必要なのか―。「憲法で軍隊を廃止した国」コスタリカの取り組みに学びたいと思い、映画を鑑賞しました。

1948年、軍隊の廃止を決めたコスタリカ。直接的な引き金として描かれたのは、軍隊も絡んだ内戦でした。

このとき、勝利した市民側のリーダーが、国軍の拠点だった要塞の場所で式典を開き演説します。

「この要塞の鍵を学校に手渡す。今日からここが文化の中心だ。兵士より多くの教師を。ここに国軍を解散する」

映画では、こうした当時の映像を混ぜつつ、歴史を追う中で、現代の人のインタビュー画像が織り込まれます。

「病院と学校を取るか、機関銃を取るかです。わが国は福祉国家になると決めました」

軍隊を廃止し、軍事費は教育、医療、環境にと使われるようになりました。大学までの授業料と医療費は無料です。

コスタリカは幸福度が世界一高い国です。

「私は幸せだ。なぜなら自分の産んだ子どもが、将来絶対に兵士になることはないから」

「コスタリカ人は毎日をあるがままに受け入れて、楽しんで流れに合わせて生きている」

「コスタリカ人は陽気な国民性。余暇はパーティーで過ごす」

幸せなのは、軍隊を持たず平和な日々を送れているからでしょうか。映画では、度々他国に侵入されそうになったり、コスタリカでもグローバル化の波に飲まれ、格差が広がりつつある問題が描かれ、最後には「人を大切にする政治を」と訴える大統領選挙編が描かれます。

映画を観おえて

終了後の感想交流会では、「コスタリカは軍隊廃止して福祉の充実、くらしの安定という順番だったが、日本では平和の問題を考えるその前に日々のくらしでそれどころではない。経済の安定が重要では」という感想がありました。

コスタリカは軍部のクーデターという決定的なきっかけがあり、その後軍事費分を福祉に活用し、他国からの干渉を対話外交によって解決してきた―。こう書くと確かに「コスタリカの奇跡」なのかもしれません。しかし、映画を通じて、国民の平和と民主主義について自信を持って語る映像が印象に残りました。国民の平和を求める想いが続く限り、積極的平和国家は終わらない―。奇跡ではなく必然。日本が問われているのは、私たちの平和に対する想いではないでしょうか。

はんざわ多美の
市政ウォッチング

「市民の要求実現のために」
―本当の「子育て日本一」へ―

大垣市の小学校のクーラー設置率は2.3%

「大垣の小学校の教室にはクーラーがないんだって？」このお母さんが住む池田町はクーラー設置が100%らしく、びっくりされていました。大垣の小学校のクーラー設置率はナント2.1%！この夏、新聞報道等で、全国的にも100%取り付けの自治体がある一方、まったく進んでいない自治体の状況も明るみになりました。大垣市はほとんどすすんでいない自治体に入ります。

緊急の課題として認識されて

「私たちの子どもの頃は・・・」と、昔を思い起こします。「暑い暑いって言っている間に夏は終わるわよ」と言われて私も育てられたものです。子どもは夏は真っ黒になって外で遊ぶもの、クーラーはなくても大丈夫、といったイメージが強く残っていることと思います。昨年、大垣市の市民団体で小学校のクーラー設置のための署名を集めた時、「夏休みもすぐに来ることだし、小学校のクーラーは特に必要とは思わないわ」という大人の声は少なくなかった気がします。しかし、今年のこの猛暑。愛知県豊田市の小学1年生が熱中症のため死亡するという大変痛ましい事故がありました。大人たちも外に出ると異様な息苦しい暑さを感じるこの夏、教室にクーラーのない小学校へ子どもを送り出すお母さんたちの不安は非常に大きかったことでしょう。愛知県のこの小学校にも教室にクーラーがありませんでした。

クーラー取付けの要請に参加して

私も、加盟する新日本婦人の会の方たちとともに大垣市教育委員会へクーラーの設置の要請に行ってきました。教育委員会には連日、小学校のクーラーに関する問い合わせや苦情がメールや電話で殺到していて対応に追われているとのことでした。

「近日中に市民が安心できるコメントをいただきたい」とお願いをしたところ、ぜひそのようにしたいと言われ、後日連絡をくださる約束をこぎつけました。

市議会議員として、きめ細かな要望と国への予算要求

市民の不安な声をすぐに受け止めて、笹田議員と中田議員は、先の6月議会でエアコン問題で一般質問にたった市民ネットの岡田議員とともに、市長と教育長に対してエアコン設置の要望書を提出しました。事故の翌日というとても速い対応であったこと、そして、最高気温が35度以上の場合は、児童に対し賢明で柔軟な教育現場の判断が行われるようきめ細かな対応を求めた点について非常に感銘をうけました。またさらに、エアコン設置のための補助金予算に消極的な国に対し、今年度の補正予算を組むように東京まで要請に行ったともお聞きました。市民のためにやれることはすぐにやる、すべてやるという姿を非常に頼もしく思いました。

◇　◇　◇